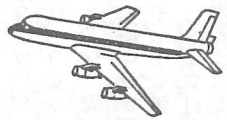


相次ぐ落下物に不安

質一般

12月定例町議会では、3議員が一般質問を行いました。概要は次のとおりです。



航空機落下物

成田空港開港以来、今日まで氷塊を含めて48件もの落下物があり、このうち実に19件が横芝に集中しているが、これに対し町はどのように対処したか。また、今後の対策は。

過去、運輸省や公団等に対し、18回もこの問題の善処かた抗議、陳情を行ってきた。

運輸省では、航空機落下物対策委員会等を組織し、落下物の対策に力を注いでいる。改善策としては、氷塊については、水ぬきの場所を落下の原因となりやすい車輪の格納部分から、熱線を通した他の部分に変えるなど構造がえを進めている。また部品については、飽くまで整備上の問題として指導している。なお、落下物の止まない理由の一つに、離陸先である外国での整備等国際的な問題も含まれているため、運輸省の指導、監督が十分に及ばない点があげられる。

不幸にして被害にあった場合の措置として、被害者救済の保険制度を58年3月からスタートさせたが、金銭で解決のつく問題ばかりではないので、今後も関係当局に対し完全解決を強く求めていく。また、中台はじめ常に危険を背負っている地区に對しても、最大限の配慮をしていきたい。

61年度主要事業

国は61年度各種補助金の補助率を今年度より一層厳しく引き下げ、地方への負担転嫁を強いるうとしている。このような削減案の中で、来年度どのような施策を考えているか。また、カットされた場合の対策は。

国の予算大綱が決まりませんと地方自治体への補助金の見通しがつきませんので、結果が出た段階で対処していきたいと考える。

61年度の重点施策としては、公園計画のもととなる坂田地浚せつ工事が、水資源開発公団に

より着工される見込みである。大総工業団地計画については、ゴルフ場との複合開発により企業が用地買収を進めている段階である。

道路関係では、坂田遠山線が62年度完成予定である。また北清水新青・東線さらには横小下の交通安全歩道整備、上界小から海岸に向かう県道改良工事等を重点に進めていく。

農業関係では、屋形の基盤整備、古川のかんがい排水、八田から長倉に通じる排水工事が重点となる。

町有地管理

町有地の隣接所有者は、境界があいまいなためか、土地台帳と異なった境界を設定しているケースが多く見られる。これについて、町は今までもどんな管理方法をとってきたか。また今後の対応策は。

町有地の不法占有は、解っている範囲で2カ所ある。1カ所については状況調査が済み、

原状回復命令を発する準備をしている。10数年前からの占有で、場合によっては法的手続きが必要となると思われる。他の1カ所については現地調査中であるが、面積が少ないので早期解決が出来るものと思われる。

「いじめ」の実態

深刻な社会問題にまで発展している「いじめ」について、当町の小・中学校における実情と防止対策についてお尋ねしたい。

当町には「いじめ」の実態は、ほとんどないと報告をうけている。中学校で1例、3年女子の数が2年女子の特定の何人かを呼びつけ、服装や生活態度について追求したため、若千の2年生に動揺を与えた。この事実を先生に訴えたことによりわかった。早速状況調査し、学級担任が直接指導を行い、保護者にも連絡をとり協力を依頼し解決した。

4月から始まった教育相談では、横小の児童に登校拒否が一名いたが、相談員の熱心な家庭訪問により、今では従来通りの学校生活を送っている。そのほか「いじめ」についての相談は聞いていないが、児童と教師との日常的なふれ合いを

増やし、奉仕活動等を取り入れることにより幅広い生活体験をつませ、豊かな情操を培っていく。その他、学校と家庭との連携を密にして、「いじめ」の防止に努める。

保育時間と年齢

婦人の職場への進出は、パートを含め、年々増え続けている。その反面、子を持つ母親にとって保育所の保育時間の関係から、働きに出られない人もいと聞いている。

保育所の定員割れをきたしている今、運営の活性化のためにも幼児の入所年齢引き下げと保育時間を延長してはどうか。

条例では、平日は8時半から5時15分の規定があるが、現実には、8時から5時半までみている。

各保育所の実態を調査したところ、第1・第2保育所には事例がある。要請があった場合には、6時近くまで時間延長してみており、職員は時差出勤によって対処している。今後もこの方法によって要望に添えていきたい。3歳未満児については、現在フタバ保育園を含めて61名預っているが、今後婦人の就労の関係でさらに増えると思う。要望が強ければ必要に応じ保護者会と話し合い、検討していく。